

愛媛県立新居浜病院ニュース

令和5年7月号 Vol.42

〒792-0042 愛媛県新居浜市本郷三丁目1番1号
代表電話番号：0897-43-6161 代表FAX番号：0897-43-2900
ホームページ：<https://www.eph.pref.ehime.jp/epnh/>



院長あいさつ

梅雨入りし、徐々に蒸し暑い日が多くなってきました。5月の連休あけに5類扱いとなったコロナの感染状況が心配でしたが、今のところは感染者の急増は無く経過しています。このまま落ち着いてくれることを願っています。

令和5年度は17名というこれまでにない多数の新入医師を迎えることになりました。また、看護師も新卒者10名の採用があり、2月1日にグランドオープンした当院の新たな門出にふさわしい、フレッシュな年度始めになりました。私が赴任した2011年ころと比較すると、専攻医などの若い医師や新卒の看護師が増えて、病院全体の雰囲気明るくなったと思います。



院長 堀内 淳

今後のコロナの感染状況次第ですが、地域連携室の公開カンファレンスや地域医療連携交流会など、コロナ禍で休止していた病院活動を少しずつ再開していく予定です。この新しくなった新居浜病院がこれまで以上に地域の皆様のお役に立てるようになりたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

7月号の内容

- P.1 院長挨拶
- P.2～5 新任医師紹介
- P.6、7 心臓血管外科トピック
- P.8～13 コメディカル部門紹介
- P.14 地域医療連携室の紹介



2023年2月 グランドオープン

新任医師紹介

令和5年度、新しく当院に赴任した先生を紹介します。(※R5.6末時点)

【一般内科・血液内科】専攻医

西野 雄貴 (にしの ゆうき)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成31年
専門分野：一般内科、感染症
趣味：子供と遊ぶこと



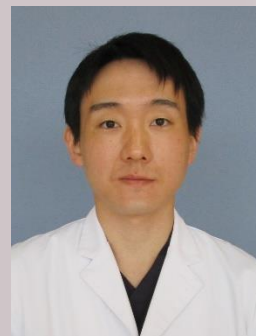
ひとこと

一般内科診療と抗菌薬適正使用支援チーム(AST)を通して、感染症診療に関わらせて頂いております。抗菌薬の選択や治療期間や発熱患者でお困りのことがあれば、ご相談頂ければ幸いです。

【循環器内科】技師

大野 広貴 (おおの ひろき)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成30年
専門分野：循環器内科
趣味：野球
息子とのショッピング



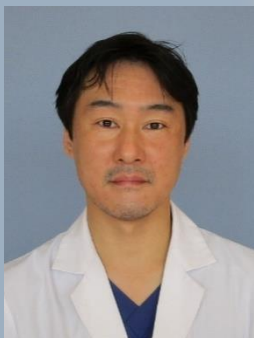
ひとこと

エビデンスに基づいた最新の治療を心がけています。循環器疾患でお困りの際はいつでもご相談ください。

【消化器内科】技師

丹下 正章 (たんげ まさあき)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成30年
専門分野：消化器内科
趣味：読書



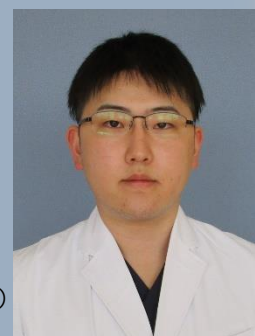
ひとこと

地元の東予地域の医療に貢献できるように頑張ります。患者さんとともに頑張りたいと思います。

【消化器内科】技師

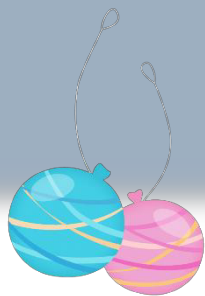
加藤 雅也 (かとう まさや)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成30年
専門分野：消化器内科
趣味：映画
音楽(クラリネット)



ひとこと

昨年まで県立中央病院勤務でした。新居浜での勤務は初めてですが、東予の医療に貢献できるよう頑張っていきます。



【外科】副医長

藤原 佑太(ふじわら ゆうた)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成29年
専門分野：一般外科、消化器外科
取得資格：外科専門医
趣味：釣り、山登り



ひとこと
新居浜の医療に貢献できるように頑張ります。
宜しくお願いします。

【外科】専攻医

穴井 貴之(あない たかゆき)

出身大学：高知大学
卒業年：令和2年
専門分野：消化器外科
趣味：読書



ひとこと
患者様に最善の医療を提供できるように努めてまいります。

【脳神経外科】専攻医

金久 浩大(かねひさ こうた)

出身大学：愛媛大学
卒業年：令和2年
専門分野：脳神経外科一般
趣味：紅茶
ごはん屋めぐり
旅行



ひとこと
精進して参りますので、何卒よろしく願い申しあげます。



【産婦人科】医監部長

村上 隆浩(むらかみ たかひろ)

出身大学：広島大学
卒業年：昭和63年
専門分野：産婦人科
趣味：釣り
家庭菜園
ガーデニング



ひとこと
広島で周産期センター、がん拠点病院勤務後、平成20年当院産婦人科を開設、10年間住友別子病院で婦人科がん治療を行い、60歳で定年退職し出戻ってきました。もう少し地域の産婦人科診療に貢献したいと思います。よろしくお願い申し上げます。



【産婦人科】技師

宮植 真紀 (みやうえ まき)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成30年
専門分野：産婦人科
趣味：スキー



ひとこと

微力ではございますが新居浜の医療に貢献できる
よう努めます。よろしくお願いいたします。

【産婦人科】専攻医

西野 由衣 (にしの ゆい)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成31年
専門分野：産婦人科
趣味：読書



ひとこと

あらゆる年代の女性の健康のため努力して参り
ます。

【小児科】部長

田代 良 (たしろ りょう)

出身大学：東京医科歯科大学
卒業年：平成20年
専門分野：小児一般
小児循環器



取得資格：小児科専門医

卒後臨床研修指導医

認定小児科指導医

【小児科】非常勤医師

桑原 優 (くわばら ゆう)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成21年
専門分野：小児科
小児アレルギー



取得資格：日本小児科学会専門医・指導医

日本アレルギー学会専門医（小児科）

趣味：読書、旅行、映画鑑賞、ライブ鑑賞

ひとこと

小児科一般・アレルギーを中心に診療をおこなって
おります。子供たちが笑顔で過ごせるような診療を
したいと思います。



【小児科】 医長

中矢 隆大(なかや たかひろ)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成23年
専門分野：小児内分泌・代謝



取得資格：日本小児科学会専門医・指導医
臨床研修指導医

趣味：旅行、釣り

ひとこと

以前住友別子病院に勤務していた事があり、新居浜はとても思い出深い場所です。東予地域の子供たちのために精一杯頑張ります。

【小児科】 技師

新居田 真生(にいだ まお)

出身大学：自治医科大学
卒業年：平成30年
専門分野：小児科

取得資格：小児科専門医
趣味：旅行



ひとこと

東予地域の小児医療に貢献できるよう精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【小児科】 専攻医

内海 大輔(うつみ だいすけ)

出身大学：岡山大学
卒業年：令和3年
専門分野：小児科一般
趣味：カフェ・パン屋めぐり



ひとこと

子どもたちの健康と笑顔のために一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。

【耳鼻咽喉科】 医監部長

西田 直哉(にしだ なおや)

出身大学：愛媛大学
卒業年：平成12年
専門分野：鼻副鼻腔疾患、
耳鼻咽喉科全般

取得資格：耳鼻咽喉科頭頸部外科専門、
鼻科手術暫定指導医、補聴器相談医

趣味：マラソン、サッカー観戦

ひとこと

2023年4月より赴任いたしました。前任の愛媛大学では鼻副鼻腔疾患を専門に扱っておりましたが、耳鼻咽喉科頭頸部外科疾患に手術や緊急処置など広く対応可能ですので、ご紹介をよろしくお願いいたします。



今年度、6月までにお迎えした先生をご紹介しました！皆様よろしくお願いいたします！



各診療科トピック

今月号は、心臓血管外科からのトピックを紹介します。



心臓血管外科手術再開 3 年目

平素より患者様をご紹介いただきありがとうございます。

「絶対に断らない」を目標に心臓血管外科手術を再開し、おかげさまで 3 年目を迎え、1 歳児から 98 歳のご老人まで多くの患者様の心臓血管外科手術を実施させていただくことができました。通常心臓血管手術はもちろん、より多くの患者様、そして院内外の循環器内科先生方のご要望にしっかり応えることができるよう、診療内容に関して益々パワーアップしております。

●その一：人員増加

7 月より新たな専攻医師が加わり現在総勢 4 名で診療をさせていただいております。

●その二：大動脈緊急症

大血管緊急症（解離性大動脈瘤、腹部大動脈破裂等）に対する時間外緊急手術体制が整い、昨年度は 28 症例の大血管緊急症例に対して外科治療を行うことができました。そして、東予地区はもちろん西は大洲から東は県外（三豊市、三好市）まで広範地域からの患者様を受け入れ、一人でも多くの患者様に治療を受けていただき地元にお帰りいただけるようになりました。

●その三：HYBRID 初療室フル稼働

ER 処置室併設 CT&透視装置一体型治療室の本格稼働が昨年より始まり、腹部大動脈破裂、腹腔動脈破裂患者様へのより迅速な対応が可能になりました。

●その四：低侵襲手術

昨年末より側開胸による低侵襲心臓手術を開始いたしました。今年は弁膜症手術を中心に適応を拡大できるように体制を整えております。

●その五：胸腔鏡下左心耳切除術対応開始

7 月より胸腔鏡下左心耳切除術、不整脈治療の対応が可能になりました。この手術は、カテーテルの左心耳閉鎖デバイスよりも短時間かつ少ない合併症リスクと低コストで、同様の脳梗塞リスク低減効果、及び消化管出血予防効果を実現します。全身麻酔下で左胸に 4 つの小さな孔（5-10 mm）を開けて、内視鏡下でステイプラーという道具を用いて左心耳を切除します。術後 3-5 日ほどで退院することができます。

●その六：心不全、VAD 外来開始

令和 5 年 4 月より、心不全外来を新設いたしました。これは心臓外科・循環器内科合同外来になっております。既に植え込み型補助人工心臓（VAD）を装着されている患者様の日常心不全管理を含め、重症心不全患者様の診察、管理にも対応しております。日常診療にお困りの心不全患者様がおられましたらご紹介ください。

●その七：静脈瘤レーザー治療

令和 5 年秋より下肢静脈瘤に対するレーザー治療を開始いたします。ご希望の患者様がおられましたらご紹介をよろしくお願いいたします。

●その八：リードペースメーカー、ICD 対応可能

循環器内科を中心に令和 4 年よりリードペースメーカー植え込み対応が可能となりました。通常のペースメーカーでは対応が困難な患者様がおられましたら対応させていただきます。また令和 5 年秋より ICD 実施可能施設となる予定です。

●最後に

少しでも近隣病院の皆様のご要望に対応できるよう、今後とも前に進んでまいりたいと考えております。何かございましたら、ご遠慮なくご相談ください。よろしくお願いいたします。



①検査部紹介

当院の検査部は、臨床検査技師 17 名、看護師 3 名、受付職員 3 名 計 23 名（男性 6 名、女性 17 名）のスタッフが働く、とても明るく活気のある職場です。



(検体検査グループ)

(生理検査グループ)

業務は検体検査（生化学・一般・血液検査）、生理検査（心電図・脳波・超音波など）、輸血検査、病理検査、微生物検査、採血と多岐にわたりますが、安全でより精度の高い検査結果を提供できるように努めています。

またチーム医療の一員として、多職種と協力しながら臨床検査技師としての専門性を発揮するため、各種認定資格も取得し、患者様にも安心して質の高い医療を受けていただけるよう日々努力をしています。

検査部では、昼夜を問わず 24 時間、迅速で精度の高い検査結果を提供するため様々な自動分析装置を導入しており、緊急度の高い東予地域の救急医療に対してもサポートできる体制を整えています。

どうぞよろしく
お願いします！



◇検査部の資格・認定取得状況◇

超音波検査士（腹部）	2 名
超音波検査士（血管）	1 名
認定血液検査技師	1 名
認定サイトメトリー技術者	1 名
細胞検査士	1 名
日本糖尿病療養指導士	1 名
緊急臨床検査士	3 名
二級臨床検査士（血液学）	1 名
心電図検定（2級）	2 名
愛媛糖尿病療養指導士	2 名
第一種衛生管理者	2 名
特定化学物質及び四アルキル鉛作業主任者	3 名
有機溶剤作業主任者	1 名
甲種危険物取扱者	1 名

(2023 年 4 月 1 日現在)



②放射線部紹介

当院放射線部は、診療放射線技師 10 名、放射線科医師 2 名・看護師 5 名・受付職員 3 名と協力し一般撮影・CT・MRI・血管造影・心カテ・透視・骨塩定量・RI 検査と多岐にわたる業務を行っています。また、令和 3 年 8 月新病院オープンに併せて IVR-CT (ハイブリッド ER)・3T-MRI 装置の導入と放射線機器の充実が図られました。

当院の理念でもあります「地域から信頼され、必要とされる病院」のもと、日々進歩する医療技術の修得と専門資格を取得するとともに、患者様に良質で安全な放射線診療を提供できるように頼られる放射線部を目指してまいります。



技師長 川又功

【運営方針】

- 1 チーム医療の推進
- 2 正確かつ迅速な画像情報の提供
- 2 放射線の適正かつ安全利用
- 3 医療放射線被ばくの低減
- 4 業務の効率化
- 5 専門技術・知識の習得

第 1 種放射線取扱主任者	(2 名)
X 線 CT 認定技師	(2 名)
肺がん CT 検診認定技師	(1 名)
核医学専門技師	(2 名)
血管露インターベンション専門診療放射線技師	(2 名)
検診マンモグラフィ撮影技術認定技師	(3 名)
救急撮影認定技師	(1 名)
Ai 認定診療放射線技師	(2 名)
画像等手術支援認定診療放射線技師	(2 名)
放射線機器管理士	(1 名)
放射線管理士	(2 名)
放射線被ばく相談員	(2 名)
災害支援認定診療放射線技師	(1 名)
日本 DMAT 隊員	(1 名)



OIVR-CT 装置【ハイブリッド ER】

救急初療室に 2 ルーム仕様の IVR-CT 装置が導入されました。患者さんの移動なく CT および血管造影検査や治療を行うことができるうえ、単独の CT・血管造影装置としても活用することが可能です。

○3T-MRI 装置

少数のサンプリングデータから画像に必要な基データを推定し再構成を可能とした高速撮像技術である Compressed sensing が搭載され、診断精度の高い画像を提供できます。

○骨密度測定(DEXA)装置

エネルギーの異なる 2 種類の X 線を照射し骨密度を測定します。また、大腿骨構造解析・非定型大腿骨骨折分析・海綿骨構造指標ソフトウェアを備え、更に全身測定を行うことで体組成(脂肪量・非脂肪量・骨量)を計測することも可能です。



③リハビリテーション部紹介

当院リハビリテーション部は、理学療法士 9 名、作業療法士 4 名、言語聴覚士 1 名、看護師 1 名、リハビリ助手 2 名で業務に取り組んでいます。

医師・看護師・PT・OT・ST・薬剤師・栄養士・MSW 等が集まり、定期的に疾患別リハビリテーションカンファレンスを行っております。多職種で連携し、患者さまの状況や今後の方向性について話し合い、リハビリテーションを進めています。

リハビリテーション室の風景

開放的で温かみのあるリハビリテーション室です。

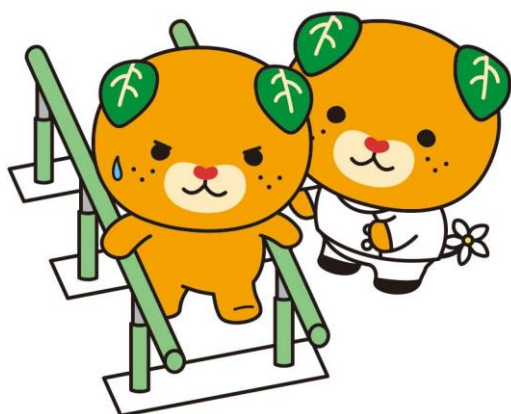


施設基準

- ・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）
- ・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）
- ・廃用症候群リハビリテーション料（Ⅱ）
- ・がん患者リハビリテーション料
- ・地域包括ケア病棟入院料 2



宜しくお願いします！



④薬剤部紹介

患者ファーストを信念とした薬の専門家

◆ 専門資格

がん薬物療法認定薬剤師	1名（渡部）
認定実務実習指導薬剤師	1名（稲見）
小児薬物療法認定薬剤師	1名（秋山美佳）
日病薬病院薬学認定薬剤師	4名（久保、渡部、田辺、山田）
NST 専門療法士	1名（稲見）
愛媛糖尿病療養指導士	1名（秋山美佳）
愛媛県小児吸入療法研究会 インストラクター	1名（秋山美佳）
認定トレーナー	1名（杉野）
愛媛県肝炎医療コーディネーター	2名（三好、山田）
抗抗菌症エキスパート	1名（三好）



◆ スタッフ

薬剤部のスタッフは、薬剤師 16 名（男性 3 名、女性 13 名）、会計年度職員 2 名の計 18 名で日々の業務を行っています。

◆ 薬剤部業務内容

内服薬や注射薬の調剤だけでなく、服薬指導・お薬相談、薬歴の管理、医薬品情報の収集提供、薬剤管理指導、抗がん剤の調製業務、病棟薬剤業務など、限られた人数の中でローテーションでの業務を行っています。



抗がん剤ミキシング



患者面談・服薬指導



多職種カンファレンス



病棟業務（配薬）



調剤室（自動調剤機）



調剤室（散剤）

◆ 他部門との協力体制

糖尿病療養指導部会、院内感染管理チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、各診療科カンファレンスなどのチーム医療へも参画し、チームの一員として安全で適正な医薬品使用に貢献できるよう努めています。

⑤看護部紹介

当院看護部は、急性期病院として身体疾患の治療に全力を注ぐとともに、入院前から退院後の生活を見据えたケアを提供し、在宅療養を継続できるよう地域にも目を向けた医療・看護の提供に力を入れています。そのためには、看護職には「生活者」としての視点が欠かせません。目の前の患者に起こっていること、これから起こることを正しく理解し必要なケアを提供できる人材を育成し、地域医療に貢献いたします。



看護部長 青野洋子

●外来（外来 1，外来 2、患者相談）

各診療科外来、内視鏡・血管造影、人工透析室、外来化学療法室、患者相談室で構成されています。子どもが住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、学校・市役所関係者と学習環境を整えるための就業前カンファレンスや災害時にも透析の継続ができるよう他病院と災害訓練を行うなど、地域における医療・介護の関係機関との連携に取り組んでいます。



患者サポートセンター

●東予救命救急センター

ICU・HCU、手術室と1F初療室で構成されています。日々、生命の危機に瀕している重症の患者さんの重篤化を回避できるようチーム医療を提供しています。24時間緊急手術に対応し、超急性期から急性期看護までの重症患者に対し、集中治療後症候群予防の視点からせん妄対策に取り組み、高度で安全な看護の実践と早期リハビリテーションを行い地域に繋いでいます。



●急性期一般病棟（4東・5東・6東）

急性期一般病棟は3病棟（うち1病棟は女性病棟）で構成されています。入院や救急搬送時から患者個々に応じた退院先を見据え、退院後も治療を継続して療養生活を送れるよう支援しています。治療継続が必要な高齢者患者が増加しており、ケアマネージャー、地域連携室、認定看護師、理学療法部、薬剤部、栄養部など多職種連携を活かして、意思決定支援や在宅復帰支援に力を入れています。

●小児病棟（4西）

東予東部地域の小児医療として、2次・3次救急の受け入れを行っています。子どもとその家族との関わりを大切に、子どもの成長発達段階に応じた支援を病棟と外来で連携をとり継続します。NICUから病棟そして地域へつなぎ、医療を持ち帰る子どもとその家族が安心して生活の場に戻れるように支援を行っています。



●地域周産期母子医療センター（4西・4東）

地域周産期母子医療センターは、同フロアに産科・NICU・GCUを配置し、妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援を行うことを目指しています。ハイリスク妊産婦のケアや新生児看護を強化するため、応援体制を確立し病棟間での連携に力をいれてきました。また、愛媛県東予東部の子育て支援センター関係機関とも連携を強化し地域の実情に合わせた当院の看護の役割を普及できるように、今後も妊娠期から育児期における切れ目のない支援を行っていきます。

●地域包括ケア病棟（5西）

ポストアキュート、サブアキュートに必要な治療・看護を継続して提供しています。病棟専従理学療法士と共に身体機能の回復を図ります。また病院内、病院外が多職種と連携を図り、自宅の療育環境や生活リハビリテーションを行っています。退院後の生活を見据えた個別的な支援を行い地域へ繋がります。



地域医療連携室から

当院は、外来看護師や入院前サポート専従の薬剤師や栄養士らが協働し、入院前から患者情報を把握したうえで、これを基に退院アセスメントを実施して病棟看護師に繋ぎ、入院前から退院を見据えた支援を行っています。地域医療連携室では、急性期治療を終えた患者様が、病気や障害を抱えながらも、家庭や地域の病院・施設など療養の場で、安心して自立した自分らしい療養生活を送ることができるように、地域の保健・医療・介護・福祉機関と連携して支援しています。また、紹介患者様の予約調整や、急患患者受入れ調整、転院受け入れ調整等を行っています。

今後も地域の方々との連携を強化し、地域医療を支えていきます。

メンバー紹介・役割別業務内容紹介

連携室室長・副室長・医事課長・看護師（うち3名社会福祉士）・医事事務で携わっています。

室長 ・ 副室長 ・ 医事課長



看護師



今年度から地域医療連携室の看護師となりました。困りごとがありましたらお声掛けください！

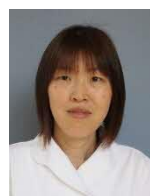
入院前サポート



入院前サポート業務内容

- ・入院当日や必要物品などの説明
- ・入院や治療に関する相談
- ・入院当日の迎え入れ、入院後訪問
- ・栄養・薬剤部との面談調整

前方連携



前方連携業務内容

- ・紹介患者様の予約受付
- ・受診報告や返書管理
- ・広報誌の作成
- ・他医療機関への予約調整

後方連携



後方連携業務内容

- ・退院支援・退院調整・転院調整
- ・医療、行政、福祉、保健との連携
- ・ケアマネージャーや相談支援専門員との連携
- ・退院前・退院後訪問
- ・制度利用の相談支援

認知症認定看護師



認知症の方が、できるだけ早期に望まれる生活の場に戻れるように、多職種と連携しご家族も含め看護していきます。